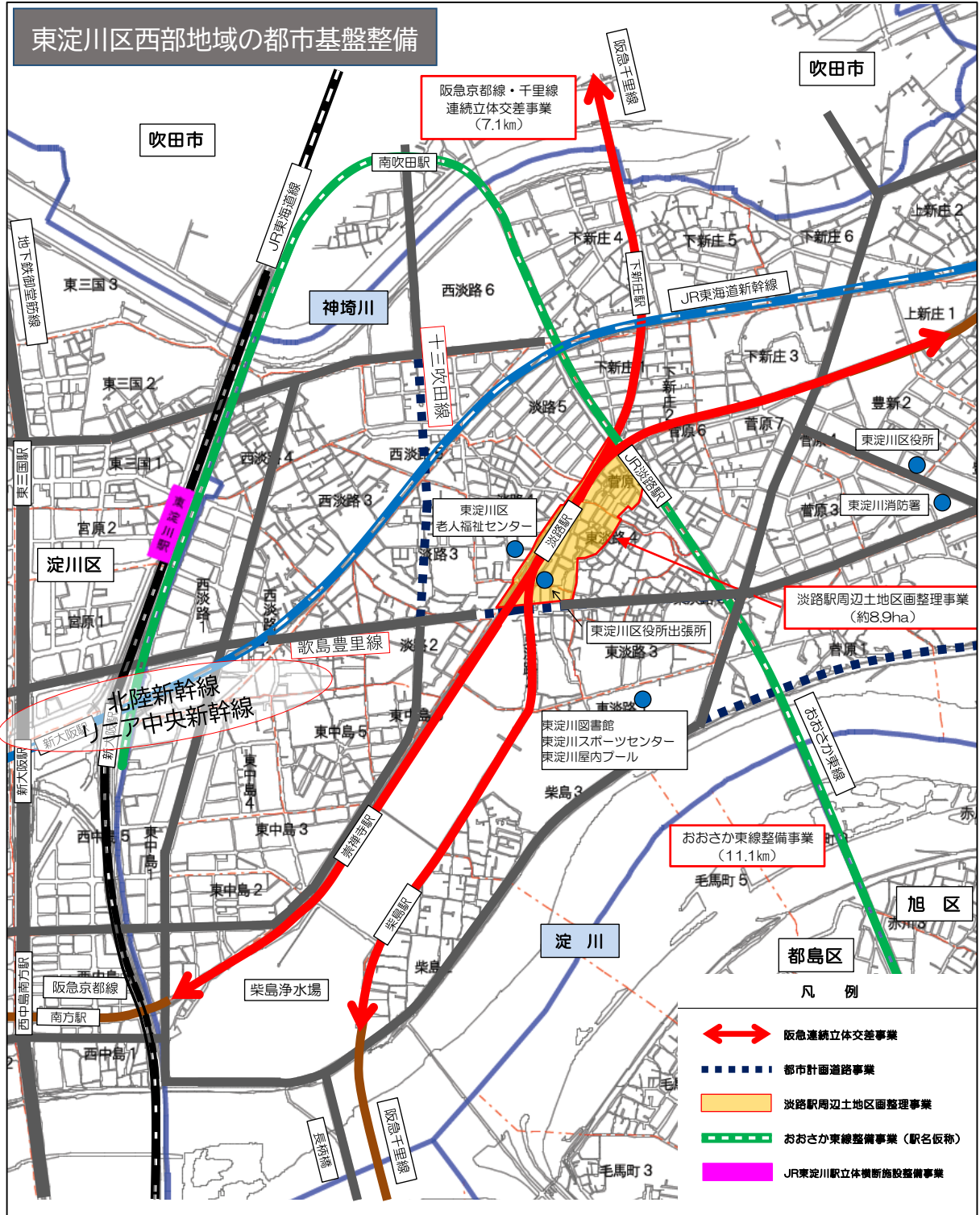


# 東淀川区西部地域 バリアフリーまちづくり





東淀川区西部地域は、阪急京都線・千里線連続立体交差事業や淡路駅周辺地区土地区画整理事業、平成31年3月に開通したおおさか東線の鉄道整備や歌島豊里線などの都市計画道路整備が進められ、都市基盤整備により大きくまちの形が変わっていくタイミングにあります。





## 《バリアフリーまちづくり協議会》

### (構成)

- ◆ 学識経験者
- ◆ 各地域活動協議会等の会長等
- ◆ 各事業者・行政の代表者
- ◆ 会長は区長が努める
- ◆ 事務局は区役所が担う

### (役割)

- ◆ 基本方針や方向性の確認
- ◆ まちづくり構想の提案 など

## 《まちづくり構想部会》

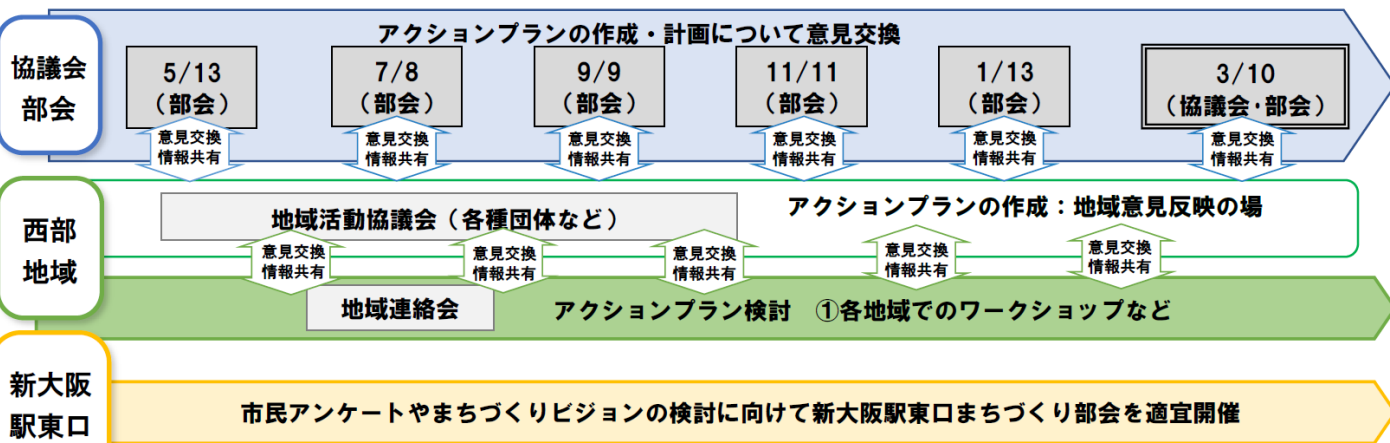
- ◆ 課題整理や解決手法の検討
- ◆ 関連する事業計画の情報提供や連絡調整
- ◆ 構想の作成に向けた調整・協議
- ◆ まちづくり構想案の作成
- ◆ まちづくり構想実施に係る連絡調整 など

## 《新大阪東口まちづくり部会》

- ◆ まちづくり対象は駅東口からおおむね0.5kmの半円内
- ◆ 地域の現状把握や課題整理など必要な情報収集
- ◆ 市営住宅配置計画案の提案
- ◆ 私用地等処分後の「まちづくりの方向性」の提案
- ◆ その他、まちづくりに必要な事項 など



## 令和3年度の取り組み



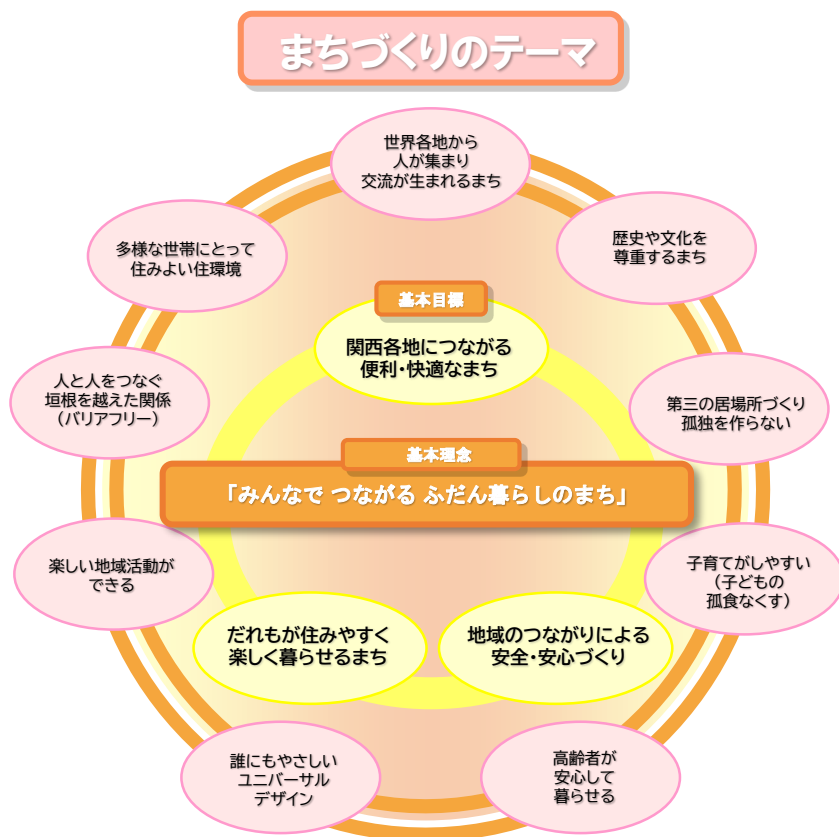
東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会が平成28年に設置され、地域住民・事業者・行政による議論を経て平成30年3月に策定されたまちづくり構想をもとに、アクションプラン策定や新大阪駅東口まちづくりの取り組みが進められています。



東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想は、新大阪駅東口を含む広域的な範囲のまちづくりの方向性を示したもので、「みんなでつながるふだん暮らしのまち」を基本理念に、3つの基本目標のもと、具体的なまちづくりの方向性を描いています。

ここでは、地域に住むひとびとが安心して暮らせるまちや新大阪につながる便利・快適なまちの姿が示され、出会いや交流などの相乗効果を生み出す方向が示されています。

まちづくり構想の実現に向け、各地域のアクションプランを策定し、具体的な取組みを進めることとしています。



## ■ 各地域のアクションプラン策定に向けた取組み

### ● 検討内容および体制

